

ドライフラワーにして花をきれいにのこそう

沖縄カトリック小学校
2年 毛呂朱音

1. 目的、どうき

(1) 目的

どうやったら花がきれいにのこせるのかをしらべる。

どんな花がドライフラワーにむいているのかをしらべる。

ドライフラワーにする方法をかえるとどうなるのかをしらべる。

(2) どうき

沖縄には、色があざやかできれいな花がたくさんあります。私は、きれいな花が枯れてしまうのがさびしくて、ドライフラワーを作ってみることにしました。

ドライフラワーにしてみると、色がきれいにのこる花、ドライフラワーにできずにこなごなになる花などがあります。

なぜ、花によってちがいが出るのか、いろいろな花でじっけんして、考えたり、しらべたりしてみたいです。

2. 方法、内容

(1) 方法

① ドライフラワー用のシリカゲル（かんそうざい）に花をいれる

タッパーにシリカゲルと花を入れてみっふうする。1週間後に花を取り出して入れる前と後で花の色や形、大きさがどう変化したかをかんさつする。シリカゲルは電子レンジでかぬつして再利用する。(図1)



図1 シリカゲルに花をいれる

② 花をさかさまにして吊るしておく

花をそのままさかさまにして、部屋のかべに吊るしておく。かんそうしたころ花を外して、吊るす前と後で花の色や形、大きさがどう変化したかをかんさつする。(図2)



図2 さかさまにして吊るす

③ スケッチブックに花をはさんでとじ、おもしろのせ、押し花にする

スケッチブックの中に花をはさんで、たくさん本を上のにせておく。かんそうしたころ花を取り

出して、スケッチブックにはさむ前と後で花の色や形、大きさがどう変化したかをかかさつする。(図3)



図3 押し花にする

(2) 内容

じっけんにあたり、ドライフラワーの水分についてかせつを考えた。

ドライフラワーは花をかんそうさせるものなので、水分がたたくさんなくなったものがきれいにできて、水分が少ししかぬけなかったものがきれいにできないのではないかとよそうした。花によって大きさがちがうので、すいぶんがどれだけ変わったかしらべるために、何パーセントの重さになったか、計算して表をつくった。

そのけっか、表1のとおりとなった。

表1 ドライフラワーにした時の花の水分の変化ときれいにできたかどうかの表

花の名前	シリカゲルに入れた時の水分の変化				吊るした時の水分の変化				押し花にした時の水分の変化				
	シリカゲルに入れる前の重さ(g)	シリカゲルに入れた後の重さ(g)	どのくらいへったか(%)	きれいにできたか	吊るす前の重さ(g)	吊るした後の重さ(g)	どのくらいへったか(%)	きれいにできたか	押し花にする前の重さ(g)	押し花にした後の重さ(g)	どのくらいへったか(%)	きれいにできたか	
千日紅	0.8	0.2	25.0	○	1.0	0.2	20.0	○	1.4	0.2	14.3	△	
千日小坊	0.1	はかりわすれ		△	0.2	はかれない	12.5	×	0.2	0.0	0.0	○	
ケイトウ	1.6	0.2	12.5	○	2.4	0.3	12.5	△	2.7	0.2	7.4	△	
カーネーション	2.8	0.7	25.0	○	2.6	0.5	19.2	△	2.9	0.6	20.7	△	
スターチス	3.7	0.9	24.3	○	4.6	1.4	30.4	○	2.1	0.3	14.2	○	
赤色のバラ(もらった)	14.4	2.5	17.4	○	16.5	4.2	25.4	○	14.3	カビがはえた		×	
赤色のバラ(買った)	2.6	0.5	19.2	○	2.2	0.4	18.1	○	1.9	0.5	26.3	△	
ピンク色のバラ	2.2	0.4	18.1	○	2.3	0.4	17.3	○	2.4	0.5	20.8	×	
バラのはっぱ	0.6	0.1	16.7	○	0.7	0.2	28.5	○	0.6	0.2	33.3	○	
トルコキキョウ	4.9	1.7	34.7	△	4.5	1.0	22.2	△	4.7	0.7	14.9	×	
かすみ草	1.1	0.0	0.0	○	0.8	0.1	12.5	○	0.7	0.2	28.6	○	
スプレーギク	0.6	0.1	16.7	△	0.9	0.2	22.2	△	1.2	0.2	16.7	△	
ヒマワリ	108.3	14.5	13.3	○	79.4	1.0	1.2	△	40.5	4.3	10.6	△	
ヒメノカリス	40.0	16.0	40.0	○	どれなかった				どれなかった				
ガーベラ	7.2	0.3	41.7	×	6.6	0.8	12.1	△	7.3	0.8	11.0	×	
庭や公園にある木	島バラ	0.6	はかれない		×	0.6	0.0	0.0	×	0.3	0.2	28.6	○
庭や公園にある木	ベージュ色のハイビスカス	1.8	0.4	22.2	△	1.7	0.2	11.8	△	1.7	0.3	17.6	△
庭や公園にある木	赤色のハイビスカス	1.3	0.0	0.0	△	1.2	0.2	16.7	△	1.5	0.1	6.7	×

	ハナキリン	0.5	0.0	0.0	×	0.6	はかれない		×	押し花にはできない			
	ピンク色のランタナ	0.5	はかれない		×	0.3	0.0	0.0	△	0.3	0.1	33.3	△
	オレンジ色のランタナ	0.2	0.0	0.0	△	0.5	0.0	0.0	△	0.3	0.2	66.7	×
	ブーゲンビリア	0.1	0.0	0.0	○	0.1	0.0	0.0	○	0.2	0.2	100.0	×
	コバノサンダンカ	0.1	0.0	0.0	△	0.1	はかれない		×	0.1	0.0	0.0	×
草花	オオジシバリ	0.2	はかれない		△	0.3	はかれない		×	0.2	0.0	0.0	×
	タンポポ	0.1	0.0	0.0	○	0.4	0.1	25.0	○	とれなかった			×
	むらさき色のスミレ	0.1	0.0	0.0	○	0.2	0.0	0.0	×	とれなかった			×
	ムラサキカタバミ	0.2	0.0	0.0	△	0.0	0.0	0.0	×	とれなかった			×
	アメリカハマグルマ	0.4	0.0	0.0	○	0.3	0.0	0.0	△	0.4	0.0	0.0	×
	黄花ハナニラ	0.3	はかれない		×	0.5	はかれない		×	0.5	0.0	0.0	×
つる性の花	ノウゼンカズラ	0.0	はかれない		×	0.7	0.1	14.2	×	0.5	0.0	0.0	×
	オオバナアリアケカズラ	0.3	0.3	15.0	×	2.0	0.3	15.0	×	2.2	0.3	13.6	×

(3) まとめ (わかったこと)

- ① ドライフラワーがきれいにできるかどうかは、水分のりょうのへり方で変わると思ったので、シリカゲルで作った時、吊るして作った時、押し花にした時の重さの変化を表にした。

そのけっか、かんそうさせたらどの花も軽くなったので、水分はへったと考えられる。

よそうでは、重さがたくさん軽くなり、水分がへったものがきれいにできると思っていたが、そうではなかった。たくさん水分がへっても、きれいにできていなかったり、少ししか水分がへっていてもきれいにできるものがあったりして、水分のへり方は花によっていろいろだった。

- ② 小さな草花などの花は、水分が少なそうなので、きれいにできると思ったけれど、けっかはきれいにできないものが多かった。(図4)

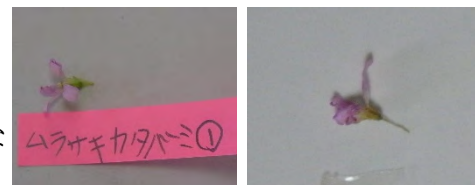


図4 ムラサキカタバミ シリカゲルに入れる前(左)とあと(右)



図5 ヒマワリ シリカゲルに入れる前(左)とあと(右)

- ③ 大きな花は水分が多そうなので、きれいにできないと思ったけれど、きれいにで

きたものやできなかったものがあったので、大きさはかんけいなかった。(図5)

- ④ きれいにできたものは、買って来た花、もらった花、庭にうえていた花など、さいばいされている花が多かった。花屋さんで売っている花などは、花びらが落ちにくいしっかりした花をえらんではんばいしているのではないかと思った。
- ⑤ シリカゲルで作ったものはきれいにできたものが多かった。きゅうそくにかんそうさせるので、形がくずれにくいのだらうと思った。
- ⑥ 吊るして作ったものは、さいばいされた花はきれいにできたけれど、ほかはあまりきれいにできなかった。
- ⑦ 押し花は、はっぱなどのもともとぺったんこなものはきれいにできたけれど、ほかのものは、カビがはえたり、くさったりして、あまりきれいにできなかった。せんもん家からアドバイスをうけて、紙を毎日変えないといけないことがわかったので、今後のかだいにしたい。

- ⑧ 花びらがおちやすい花は、作り方にかんけいなくきれいにできなかった。

- ⑨ タンポポとオオジシバリは、かんそうしたらわた毛になった。ほかにもこのようなかっかになるしょくぶつがないか、もっとためしてみるひつようがある。(図6)

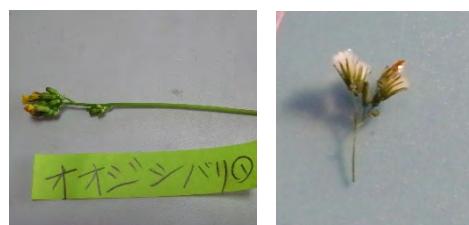


図6 オオジシバリ シリカゲルに入れる前(左)とあと(右)

(4) 今後のかだい

- ① もっと花のしゅるいをかんがえて、しゅるいごとにいろいろためしてみたい。花のしゅるいべつの水分のりょうの変化もみてみたい。
- ② 家庭用のはかりでは、軽くなった花は0.0gと表示されてしまう。軽いものでも表示できるはかりをつかってやってみる。
- ③ 今回、サイエンスクラブで沖縄美ら島財団の赤井けんせい先生にアドバイスをうけ、花にグリセリンなどで水分をあたえるやり方があることがわかった。少し、ためしたみたが、うまくできなかったので、それをもっといろいろな方法でためしてみたい。(図7)



図7 グリセリンにハイビスカスを入れた

- ④ また、琉球大学名誉教授のよぎせいいち先生に、花びらをバラバラにしてラミネートするのはどうかというアドバイスを新聞上でもらい、ためしてみたが、組み立てるのがうまくいかなかった。これについても、もっと方法をさがしてみたい。(図8)

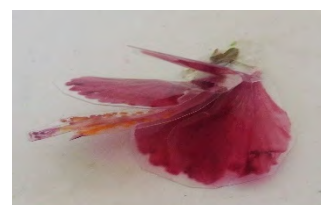


図8 ハイビスカスの花びらをはずし、ラミネートして組み立てた